



木曾「城山史跡の森」における活動を振り返って

創刊号でも詳しく紹介しましたが、当センターでは、長野県木曾町福島の「城山史跡の森」において、NPO城山史跡の森倶楽部（以下史跡の森倶楽部）や木曾町役場などと協力して拠点整備活動を行っています。

平成16年度、11月に史跡の森倶楽部が設立され、城山国有林を管理する木曾森林管理署との間に協定が締結されたのを皮切りに、12月から3月にかけては、同倶楽部と当センターとの共同で案内用のパンフレットを作成するとともに、同倶楽部のコネクションを活かして名古屋圏などへの宣伝活動を行うなど新年度へ向けての準備を行いました。

そして平成17年度、雪が融ける4月からいよいよNPO等と連携した城山における活動が本格的に開始されることとなりました。

○木曾「城山史跡の森」に歩道を新設

平成17年度の活動は、まず歩道の新設作業から始まりました。もともと城山国有林はレクリエーションの森（風致探勝林）に指定されており、ある程度の歩道は整備されていましたが、町の観光施設等とフィールドを直につなぐコースを新設することにより、より一層利便性を向上させ、町外からのハイカーなどが古い宿場町の町並みと豊かな自然を同時に楽しめるようになればとの願いを込めて取り組んだものです。

作業は、史跡の森倶楽部の会員や当センター職員など延べ89名が参加して行われ、約500mの歩道を延べ4日間かけて見事に完成させました。作設にあたっては、近くに倒れていた古木等を材料として活用して階段を作るなど工夫をこらしており、とても素人の手によるとは思えない立派な歩道ができあがりました。

○本格的な活動に向けた研修会を実施

冬の間の準備が実を結び、4月上旬には名古屋圏から城山への日帰りツアーがGW期間中に組まれる状況となっていました。史跡の森倶楽部には森林ガイドの経験のある会員が少なかったことから、4月21日、当センターの協力のもと、森林案内のガイドを養成するための研修会が行われました。

研修会には、「名もない山にも文化や歴史がある」を合い言葉に、城山の自然や歴史に関する知識を身に付けようと集まった有志20名が参加しました。参加者は出来上がったパンフレットを手に、新設したばかりの歩道等を散策しながら、城山の歴史や植物等お互いの得意分野の知識を出し合いました。



史跡の森倶楽部の会員による歩道新設



城山の歴史を説明する郷土史研究家の田中先生

○自然観察会など様々なイベントを実施

GW期間中には延べ300名の方が城山を訪れ、参加者は、史跡の森倶楽部の会員や当センター職員のガイドで色鮮やかな新緑の山を堪能しました。雪が融けた歩

道沿いには、ちょうどスミレやネコノメソウなどの花が開花の時期を迎えており、参加者の目を存分に楽しませていました。

また、GW期間中のイベントには名古屋圏だけでなく地元の方々も多く参加し、意外と知らない身近な自然のすばらしさを体験しました。参加者の一人は、「普段見慣れてはいるが、山に入ったのははじめて。こんなに良いところならもっと来たい」と言っていました。

その後も城山では、春夏を中心に森林・鳥類・昆虫等の観察会、下流域からの森林浴ツアー等のイベントが多数実施され、史跡の森倶楽部にとっても大忙しの一年となりました。参加者の反応はおおむね好評で、初年度にしてはまずまずの成果だったようですが、まだまだガイドができる会員は少なく、今後は質、量ともに充実させていく必要もあります。会員の皆様の更なる活躍に期待したいと思います。



自然観察会で見られたミヤマネコノメソウとニホンリス

〇木曽町による積極的な整備

城山の整備には地元木曽町役場も力を入れています。昨年夏には、町民の寄付などを活用してかつて木曽川にかかっていた江戸時代の木橋（行人橋）を復活させ、木曽町の市街地から城山の登山道へのアクセスが格段に向

上しました。橋のたもとには足湯も設置されており、ハイキングなどで疲れた身体を癒すにはもってこいです。

また、昨年秋から冬にかけて城山の歩道、あずまや等を整備し、以前と比べると格段に安全で快適な山歩きが出来るようになりました。



きれいに整備された権現滝付近の歩道

〇平成18年度の活動に向けて

例年よりも早く雪が降った12月初旬、当センター、史跡の森倶楽部、木曽町役場が共同で、城山における平成18年度の活動計画を策定するための現地視察を行いました。

葉の落ちる冬期は、見晴らしも良く、動物の足跡なども分かり易いため自然観察にはもってこいです。標高差も少なく町からのアクセスも良いため、冬山に慣れていない人でも気軽に雪中でのトレッキングが楽しめるのも、木曽城山の魅力の一つだとあらためて感じました。

この日は天気も良く、参加者全員が城山のすばらしさを再認識する良い機会となりました。当センターでは、今後も様々な方面と連携し、力を合わせて城山を魅力あるフィールドにしていきたいと考えています。



史跡の森倶楽部の面々などと